

新校舎平面計画案の主な変更点について

周辺の住環境等に配慮し、下記の項目について変更しました。

1 壁面の後退

近隣に対する圧迫感を軽減するため、給食室の南側の一部をセットバックした。

※1階「開放会議室」の面積を約64㎡（普通教室1室分相当）に縮小

2 高さの変更

現計画案の高さ：（校舎棟4，5階層）3.8m→3.7m（▲0.2m）

（プール壁高）3.8m→3.5m（▲0.3m）

（大アリーナ階高）11.4m→10.9m（▲0.5m）

⇒校舎棟（壁高）、アリーナ棟共に0.5m低減

3 武道場の取りやめと代替諸室

新校舎の近隣住宅に対する日影の影響及び圧迫感を軽減するため、武道場を取りやめ、東側1階層分低くした。

<代替諸室>

○中学校

武道（柔道）→現高円寺中の運用を引き継ぎ、「大アリーナ」に畳を敷いて対応。また、同アリーナ器具庫に畳収納庫を設置。

○小学校

琴（現杉八小活動）の練習→3階の「英語ルーム兼多目的室」（防音対応諸室）にロール畳を敷いて対応。また、室内に楽器保管庫を設置。

○小中学校

ダンス（体育）→「多目的ランチスペース」「小アリーナ」「大アリーナ」（全防音対応諸室及び姿見設置）を活用。

4 間取りの変更

- ・1階の「防災倉庫（校庭用）」

→間口が広く設けられるよう、東側の機械室と入れ替え

- ・3階の「多目的ランチスペース」、「図書室」

→音を出す活動がある「多目的ランチスペース」を校舎内側の「図書室」と入れ替え

- ・5階の「郷土資料室」、「教材管理室」

→柔軟な学校運営に対応できるよう一体化